

## wxPrinterDC

プリンタデバイスコンテキストは、Windows 固有のものであり、Windows ドライバを介して任意のプリンタにアクセスできる。デバイスコンテキストに関する詳細な情報は、[wxDC](#) を参照のこと。また、ページに対する正確なスケーリングを得るためのアドバイスとして、[wxDC::GetSize](#) を参照のこと。

[plugin::pdf::PDFParser=HASH\(0x53e16c\)](#) 基本クラス

[wxDC](#)  
[wxObject](#)

[plugin::pdf::PDFParser=HASH\(0x53e16c\)](#) インクルードファイル

<[wx/dcprint.h](#)>

[plugin::pdf::PDFParser=HASH\(0x53e16c\)](#) 参考

[wxDC](#), [印刷の概要](#)

[plugin::pdf::PDFParser=HASH\(0x53e16c\)](#) メンバ

[wxPrinterDC::wxPrinterDC](#)

[wxPrinterDC::wxPrinterDC](#)

[wxPrinterDC](#)(const [wxPrintData](#)& printData)

適切なプリンタデバイスコンテキストをセットアップするために必要な情報として、[wxPrintData](#) オブジェクトを渡す。これは、[wxPrinterDC](#) で構築することを推奨する。[wxPrintData](#) オブジェクトへのポインタではなく、参照を指定することに注意する。にも関わらずポインタを渡しても、警告すら得られないかも知れない。

[wxPrinterDC](#)(const [wxString](#)& driver, const [wxString](#)& device, const [wxString](#)& output, const bool interactive = true, int orientation = wxPORTRAIT)

コンストラクタ。最初の3つの引数に空文字を渡すと、デフォルトの印刷ダイアログが表示される。device はプリンタの種類を示し、output には、オプションとして、印刷を出力するファイルを指定する。driver 引数は、現在使用されない。利用可能なデバイスコンテキストを構築するとき、コンストラクタが成功したか調べる場合には、Ok メンバを使用する。

このコンストラクタは、将来廃止される可能性があり、(下位)互換性のためだけに残してある。